

福島第一 3号機炉心スプレイ系ラインからの炉注水に係る空气中放射性物質の核種分析結果

(データ集約 : 9/3)

採取場所	福島第一 MP 7 付近		福島第一 正門付近		福島第一 グラウンド北東側付近		福島第一 グラウンド北東側付近		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成23年9月1日 14時10分 ~ 14時50分		平成23年9月1日 15時20分 ~ 16時00分		平成23年9月1日 23時20分 ~ 24時00分		平成23年9月2日 5時20分 ~ 6時00分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

E- とは、 $\times 10^{-}$ と同じ意味である。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表 3 核種の検出限界値は次のとおり。

揮発性のI-131が約1E-6Bq/cm³、Cs-134が約4E-6Bq/cm³、Cs-137が約4E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約8E-7Bq/cm³、Cs-134が約2E-6Bq/cm³、Cs-137が約2E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。